

## 「急性脳炎・脳症・急性弛緩性麻痺の実態・病因解明に関する研究」への

### ご協力をお願い

#### ■ 研究の対象

2018年5月1日～12月31日の8か月間に15歳未満で急性弛緩性麻痺に罹患された方

#### ■ 研究の目的・方法

研究目的は、急性弛緩性麻痺を認めて国立感染症研究所に報告された症例について実態を解明する事と、急性弛緩性麻痺を認める患者が2015年8月以降に急増した理由について検討し、患者の予後ならびに急性弛緩性麻痺患者の実態・病因解明・効果的な治療方法の導入に資する事である。

研究方法は、入院施設を有する小児科医療機関に調査票(15歳未満急性弛緩性麻痺症例数調査票)を送付し、2018年5月1日～12月31日の8か月間に15歳未満の急性弛緩性麻痺症例の経験の有無、経験ありの場合はその人数を確認し、2次調査への協力が得られた医療機関には、急性弛緩性麻痺症例(2018年)に関する臨床調査質問票を送付し、現状把握とより良い治療法について検討する。また、2015年に発症し詳細な2次調査に協力頂いた急性弛緩性麻痺75症例について、急性弛緩性脊髄炎(2015年)に関する予後調査質問票を送付し、長期予後について調査するとともに、より良い治療法を検討する。

研究実施期間は、臨床研究審査委員会承認後(2019年4月24日)から2022年3月31日までである。

#### ■ 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、診断名、症状、原因ウイルス、検査結果、治療、などである。

#### ■ 外部への試料・情報の提供

匿名化(個人情報を含む)が出来る連続した番号を本研究の提供者個々のIDとし、研究者間の臨床データなどのやり取りは全てこのIDを運用して行う。情報提供は、郵送・電子的配信などで行う。

#### ■ 研究組織

国立感染症研究所 感染症疫学センター

第三室 室長 多屋馨子(研究全般)

第三室 研究員 新橋玲子(臨床症状・検査結果など)

第三室 主任研究官 新井智(検体の保管・送付など)

■ お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記のご連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申し出ください。

また、試料・情報が当該研究について、患者様もしくは代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象者といたしませんので下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることは一切ありません。

亀田総合病院 小児科 戸田壮一郎 湯浅正太

電話:04-7092-2211(代表)